

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 8. 1
No.31 文責 伊藤

何のために勉強しますか？③

Part2 気の進まない勉強は「できると楽しい」から始めよう

誰しも「勉強することに対して気が進まない」という気持ちになったことはあると思います。気が進まないのは、なぜでしょう。学校の勉強が楽しくないから？成績がいま一つだから？目的が明確に実感できないから？そうであれば、「楽しくて」「できた！を実感できて」「ゴールが見える」勉強のやり方（取り組ませ方）や仕組みを工夫すればできそうです。

最近、テレビのクイズ番組で活躍している日本最高学府出身の方々は、本当に勉強が好きな人なののでしょうか。答えは「ノー」だということです。では、どうしてあの人たちはあんなに知識をもっていて楽しそうにしているのでしょうか。彼らは、「勉強そのものが楽しくなるような工夫」をしているのだそうです。

勉強の話題からは外れますが、例えば、ごみをごみ箱に捨てる時。歩いて行って捨てるのが一番良いのは分かっていますが、伊藤はよくソファから投げて捨てることがあります。賛否両論あるのは承知の上ですが、「ごみをごみ箱に捨てる（入れる）」というゴールに向かう道筋は一つではないしごみ捨て一つでもゲームとして楽しんで取り組むことができるということです。それなのに、とても多くの人が学校の勉強や受験勉強となると上手く楽しめずにいます。それは、「**勉強**」という内容にばかり目を向けているがゆえに、今までの負の経験や感情が先行してしまい、「どのように学ぶか」を考えられなくなっているからです。勉強する内容だけが勉強の楽しさを左右する要因ではないのです。

みなさんは、クイズ番組は好きですか？勉強に対してネガティブな感情をもっている人が多いのとは反対に、日本では様々なクイズ番組があり愛されています。さらに言えば、伊藤のように歴史が苦手な人も、歴史分野の内容が出題されるクイズを楽しむことができます。つまり、『クイズ番組は「知識の有無」や「挑戦者（視聴者）の得意・不得意」に関係なく楽しめるような形式をもっている』ということです。文字数が少なくなってきたので、その工夫や秘密については、次号で紹介することにします。

裏面に資料添付